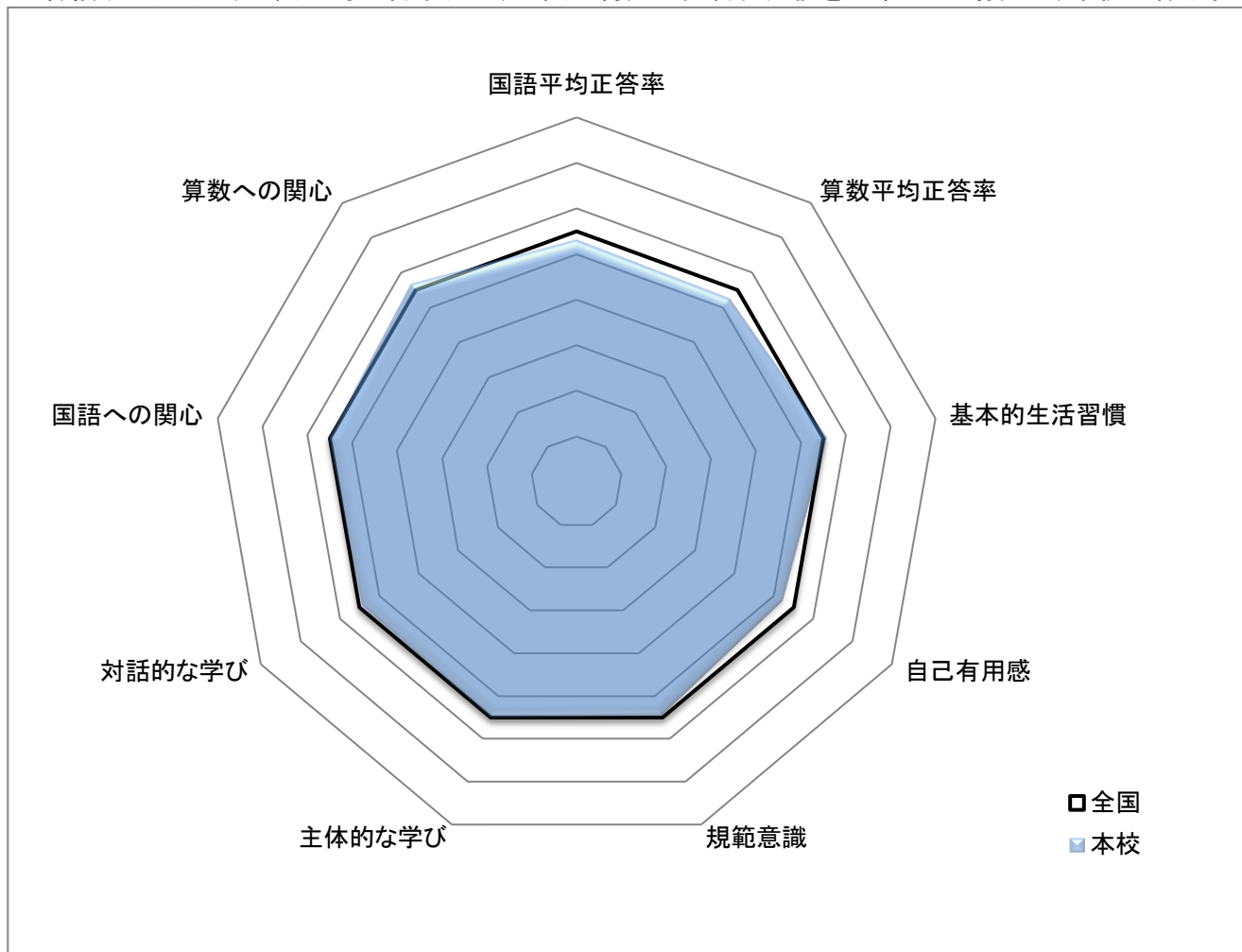


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

- ・国語の平均正答率、算数の平均正答率とも全国を下回る結果となった。
- ・基本的な生活習慣に関する回答は全国平均に比べ高い。
- ・自己有用感が全国平均に比べ低い。

《授業改善のポイント》

<国語>

- ・「読むこと」の正答率が低い。
- よむYOMUワークシートを活用し、文章を読むことへの抵抗感をなくしていく。
- ・思考力・判断力・表現力が低い。
- 言語活動の充実を図り、多様な学習活動を保障する。

<算数>

- ・すべての領域で全国平均より低い。
- ベーシックドリルを活用し、朝学習での基礎基本の定着を図る。
- ・CD層の底上げを行う。
- 算数のクラス分けをきめ細やかに行う。

《チャートの特徴》

- ・国語・算数の平均正答率がともに全国平均に比べ低い。
- ・自己有用感が全国平均に比べ低い。
- ・算数への関心は高いが、国語への関心は低い傾向がある。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・ホームページなど学習の様子を伝え、本校での学習の様子を広く伝えていく。
- ・学年だよりで江戸川っ子study week!の取り組みを伝え、家庭学習習慣の定着を図る。